



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場会社名 株式会社メイテック 上場取引所 東  
 コード番号 9744 URL <http://www.meitec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 甲介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 上村 正人

経営情報部  
 (TEL) 03(5413)0131

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	45,198	15.5	1,493	—	3,289	—	2,482	—
22年3月期第3四半期	39,145	△36.4	△4,565	—	△858	—	△1,294	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	74.90	—
22年3月期第3四半期	△39.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	53,839	35,925	66.3	1,076.76
22年3月期	47,625	33,443	69.8	1,002.58

(参考)自己資本 23年3月期第3四半期 35,694百万円 22年3月期 33,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	24.50	—	0.00	24.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無  
 現時点での平成23年3月期の期末配当予想は未定であります。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	14.4	2,600	—	4,700	—	3,300	—	99.55

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】6ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	35,100,000株	22年3月期	35,100,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	1,950,105株	22年3月期	1,949,655株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	33,150,189株	22年3月期3Q	33,150,478株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成23年3月期の期末配当予想は現時点では「未定」ですが、具体的な期末配当予想については通期業績見通しの確度に基づいて、平成23年3月下旬までにお知らせします。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 参考資料	13
(1) (前年度末比較) 四半期連結貸借対照表	13
(2) (前年同期比較) 四半期連結損益計算書	14
(3) 主要経営指標	15
(4) グループ各社単体の実績(平成23年3月期 第3四半期連結累計期間)	15
(5) 契約実績推移(メイテック単体)	15
(6) 社員還元見込額の追加説明	16

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 連結の経営成績

[表1] 当四半期連結累計期間における連結業績の概要

(百万円未満切捨て)	前四半期 連結累計期間	当四半期 連結累計期間	[9ヶ月間累計]	
			増減額	増減率
売上高	39,145	45,198	+6,053	+15.5%
売上原価(△)	34,942	36,139	+1,197	+3.4%
販管費(△)	8,768	7,565	△1,203	△13.7%
営業利益	△4,565	1,493	+6,059	—
営業外損益	3,706	1,795	△1,910	△51.6%
うち助成金収入	3,699	1,756	△1,942	△52.5%
経常利益	△858	3,289	+4,148	—
税金等調整前純利益	△855	3,564	+4,420	—
四半期純利益	△1,294	2,482	+3,777	—

当四半期連結累計期間(9ヶ月間：平成22年4月1日～平成22年12月31日)においては、当社の主要顧客である大手製造業の業績回復が堅調に進んでおり、技術開発投資を再開する動きが緩やかではありますが拡大しています。掛かる状況下、当社グループの中核事業である技術者派遣事業においては、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、稼働率の改善が継続しました。これらを主因に、当四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比60億53百万円増収の45億98百万円となりました。連結売上原価は、稼働率の改善による労務費の増加等を主因に前年同期比11億97百万円増加の36億39百万円、販管費は、稼働率改善に伴う未稼働エンジニアの教育訓練コストの減少や効率化の徹底等により前年同期比12億3百万円減少の75億65百万円となりました。

この結果、連結営業利益は、前年同期比60億59百万円増益の14億93百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。平成22年5月13日公表の平成22年3月期決算短信でお知らせした通り、公表予想を上回る営業利益は社員還元を優先する計画に鑑み、連結で22億38百万円の社員還元見込上限額を設定し、社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である16億78百万円まで計上しました。当社単体においても社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である14億11百万円まで計上し、営業利益は8億15百万円となりました。

前年度に引き続き、雇用調整助成金収入(17億56百万円)を営業外収益に計上し、連結経常利益は前年同期比41億48百万円増益の32億89百万円、連結四半期純利益は前年同期比37億77百万円増益の24億82百万円となりました。

② 事業セグメント別の経営成績

[表2] 当四半期連結累計期間における事業セグメント別業績の概要

(百万円未満切捨て)	グループ					
	連結 (9ヶ月間累計)	派遣事業	エンジニアリング ソリューション事業	グローバル 事業	キャリア サポート事業	連結消去
売上高	45,198	42,939	2,244	68	326	△381
構成比	100%	95.0%	5.0%	0.2%	0.7%	△0.8%
前年同期比	+6,053	+6,111	+375	△433	△104	+104
上記増減率	+15.5%	+16.6%	+20.1%	△86.3%	△24.2%	△21.5%
営業利益	1,493	1,303	147	△44	82	4
構成比	100%	87.3%	9.9%	△3.0%	5.6%	0.3%
前年同期比	+6,059	+5,410	+89	+486	+81	△7
上記増減率	—	—	+152.8%	—	—	△64.4%

ご参考：グループ各社別の業績は、15ページに掲載しています

(ア) 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業の技術者派遣事業については、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、契約終了数を上回る契約開始数の獲得をした結果、稼働率の改善が継続しました。

これら稼働率の改善を主因として、派遣事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比61億11百万円増収の429億39百万円となりました。

また、売上高の増加に伴い、営業利益は前年同期比54億10百万円増益の13億3百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。

[表3] メイテックグループの技術者派遣事業の状況

		平成22年3月期 第3四半期累計期間 (9ヵ月)/会計期間末	平成23年3月期 第3四半期累計期間 (9ヵ月)/会計期間末
MT <sup>*1</sup> +MF <sup>*2</sup> +CAE <sup>*3</sup> +MGS <sup>*4</sup>	期末技術者数 <sup>※1, 2</sup>	7,596人	6,977人
MT <sup>*1</sup> +MF <sup>*2</sup>	期末技術者数 <sup>※1, 2</sup>	7,229人	6,891人
	稼働率(全体)	69.7%	84.6%
	稼働率(新入社員等 <sup>※3, 4</sup> を除く)	74.4%	86.4%
MT <sup>*1</sup>	期末技術者数 <sup>※1, 2</sup>	5,837人	5,680人
	期末社内派遣従事者数(外数) <sup>※2</sup>	218人	119人
	稼働率(全体)	70.3%	83.2%
	稼働率(新入社員等 <sup>※3</sup> を除く)	74.6%	83.8%
MF <sup>*2</sup>	期末技術者数	1,392人	1,211人
	稼働率(全体)	67.2%	90.8%
	稼働率(新入社員等 <sup>※4</sup> を除く)	73.3%	99.2%
CAE <sup>*3</sup>	期末技術者数	88人	86人
MGS <sup>*4</sup>	期末技術者数 <sup>※1</sup>	279人	—

\*1: ㈱メイテック、\*2: ㈱メイテックフィルダーズ、\*3: ㈱メイテック CAE \*4: ㈱メイテックグローバルソリューションズ

MT<sup>\*1</sup>、MF<sup>\*2</sup>の四半期稼働率(全体)推移

	H20年 3月期	H21年3月期				H22年3月期				H23年3月期		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
MT <sup>*1</sup>	98.4%	94.2%	97.3%	96.7%	91.7%	71.6%	68.7%	70.4%	76.9%	78.1%	83.4%	88.3%
MF <sup>*2</sup>	97.5%	91.6%	96.2%	95.4%	88.8%	66.0%	65.1%	70.5%	78.5%	84.7%	92.0%	96.1%

[表3] の注記

※1: 平成22年4月1日付にて㈱メイテックグローバルソリューションズの技術者を㈱メイテックに統合しています

※2: ㈱メイテックの技術者数は、未稼働技術者への社内研修講師等の社内技術業務に従事している社内派遣従事者を、間接人員として控除しています

※3: 入社後未配属の技術者(㈱メイテックグローバルソリューションズから統合した技術者を含む)を控除しています

※4: 入社後未配属の技術者と一時帰休者(平成22年4月～平成22年12月)を控除しています

ご参考: 月次の稼働率実績等は、次の URL からご覧頂けます (当社HP) <http://www.meitec.co.jp/ir/financial/index.htm>

### (イ) エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業は、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3億75百万円増収の22億44百万円、営業利益は前年同期比89百万円増益の1億47百万円となりました。

株式会社メイテックCAEは、前年同期比で増収となり営業利益も堅調に推移しております。また、アボロ技研グループは、市況の回復に加えて営業強化の効果等もあり、前年同期比で増収、前年同期の赤字を脱却し黒字化しました。

なお、当年度よりグローバル事業から当セグメントへ移動した株式会社メイテックグローバルソリューションズは連携営業の強化や経営効率の向上を図るために、平成23年3月1日付で当社に吸収合併する予定です。

### (ウ) グローバル事業

グローバル事業は、中国で教育事業及び人材紹介事業を行っています。

グローバル事業における当四半期連結累計期間の売上高は、株式会社メイテックグローバルソリューションズが当セグメントからエンジニアリングソリューション事業へ移動した事を主因に、前年同期比4億33百万円減収の68百万円となりました。ただし、メイテック大連、広州、北京の清算手続等の事業拠点縮小による効率化、並びにメイテック上海人材への営業力の集中も進めており、営業損失は前年同期比4億86百万円改善の44百万円へ大幅に縮小しました。

### (エ) キャリアサポート事業

キャリアサポート事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

キャリアサポート事業における当四半期連結累計期間の売上高は、昨年5月の再就職支援事業の売却を主因に、前年同期比1億4百万円減収の3億26百万円となりましたが、営業利益は82百万円の黒字を計上しました。

株式会社メイテックネクストは、営業拠点を縮小しつつも、売上高は前年同期比で増収、さらにはコスト削減策が功を奏し、営業利益は黒字に転換しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産の状況

当四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)の連結総資産は、前連結会計年度末(平成22年3月31日)比で62億13百万円増加し、538億39百万円となりました。これは、現金及び預金の増加に伴い流動資産が前連結会計年度末比で71億31百万円の増加となった事等が主因です。

なお、現金及び預金の増加は、当四半期連結累計期間の経営成績結果の反映等が主因です。

### ② 負債の状況

当四半期連結会計期間末の連結負債は、前連結会計年度末比で37億32百万円増加し、179億13百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で31億9百万円の増加となった事が主因です。

なお、流動負債の増加は、社員還元見込額等を賞与引当金として計上した事が主因です。

### ③ 純資産の状況

当四半期連結会計期間末の連結純資産は、前連結会計年度末比で24億81百万円増加し、359億25百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の経営成績の結果に伴う利益剰余金の増加が主因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 業績予想

中核事業の技術者派遣事業における足元の稼働率動向等を勘案し、平成22年11月12日に公表した平成23年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたします。

下記の業績予想には、社員還元見込額として連結で22億38百万円、当社単体で18億82百万円の計上を織込んでいます。なお、織込んだ社員還元見込額は年間の上限額です。社員還元見込額の詳細は16ページに記載しています。

また、多数のエンジニアを常用雇用する当社グループでは雇用調整助成金の受給を申請しておりますが、稼働率の改善状況を踏まえ、助成金収入見込額を連結で24億円から20億円に見直し、下記の業績予想に織込んでいます。

[表4] 平成23年3月期の通期連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	59,500	1,600	4,100	2,900
今回発表予想(B)	61,500	2,600	4,700	3,300
増減額(B-A)	+2,000	+1,000	+600	+400

[表5] 平成23年3月期の通期個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	46,500	1,000	3,300	1,900
今回発表予想(B)	48,000	1,800	3,700	2,100
増減額(B-A)	+1,500	+800	+400	+200

[表6] 通期業績予想の前提条件

	㈱メイテック		㈱メイテックフィルダーズ	
	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表
稼働率(通期)	85.0%	83.2%	91.8%	90.7%
上半期実績	80.7%	80.7%	88.3%	88.3%
下半期見込み	89.4%	85.8%	95.4%	93.3%
稼働時間	8.84h/日	8.80h/日	8.87h/日	8.83h/日

② 配当予想

平成22年11月12日に「未定」と公表した配当予想から修正は行っておりません。

なお、期末配当については、営業利益に即して検討して参りますが、具体的な予想値については通期業績見通しの確度に基づいて、平成23年3月下旬までにお知らせいたします。

③ 次年度の業績見通し

従前、当社グループにおいては、第3四半期決算発表時に次年度の業績見通し(連結及び当社単体の売上高と営業利益)をお知らせしてきました。しかし、現時点では合理的な次年度業績見通しの発表は困難と判断いたしました。従いまして、次年度(平成24年3月期)業績見通しについては、平成23年3月期の年度決算発表時に開示する予定です。

**ご注意:** 本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ③ 税金費用の計算

税金費用については、当四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計基準等の改正に伴う変更

[資産除去債務に関する会計基準の適用]

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ5,235千円減少し、税金等調整前四半期純利益は81,986千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による投資その他の資産のその他の変動額は76,751千円であります。

[表示方法の変更]

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

#### ② ①以外の変更

該当事項はありません

(追加情報)

賞与引当金

社員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

当社は従来、社員に対して支給する賞与の支給額が確定していたため未払費用として計上しておりました。

当四半期連結累計期間においては、社員に対して支給する賞与の支給額に未確定のもの(現在労使合意に基づき実施している社員の賞与、賃金等の減額部分に対する社員還元見込額)が含まれる事となったため、未確定部分を含めたその総額を賞与引当金として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,647,234	14,732,005
受取手形及び売掛金	9,561,845	9,582,444
仕掛品	501,157	153,363
その他	2,871,032	3,980,151
貸倒引当金	△5,597	△3,595
流動資産合計	35,575,672	28,444,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,797,252	8,100,740
その他(純額)	4,046,117	3,968,508
有形固定資産合計	11,843,369	12,069,249
無形固定資産		
その他	2,144,870	2,704,131
無形固定資産合計	2,144,870	2,704,131
投資その他の資産		
その他	4,359,980	4,698,756
貸倒引当金	△84,796	△291,276
投資その他の資産合計	4,275,184	4,407,480
固定資産合計	18,263,424	19,180,861
資産合計	53,839,097	47,625,229
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,472	123,667
未払費用	2,152,974	4,864,630
未払法人税等	989,014	146,958
賞与引当金	3,830,967	-
その他	2,376,160	1,257,452
流動負債合計	9,502,589	6,392,708
固定負債		
退職給付引当金	8,246,394	7,739,553
その他	164,999	49,710
固定負債合計	8,411,394	7,789,263
負債合計	17,913,984	14,181,971

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	14,451,367	14,451,416
利益剰余金	11,198,471	8,715,540
自己株式	△5,891,943	△5,891,264
株主資本合計	36,583,777	34,101,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,865	20,893
土地再評価差額金	△883,049	△883,049
為替換算調整勘定	△11,104	△3,706
評価・換算差額等合計	△889,288	△865,862
少数株主持分	230,623	207,546
純資産合計	35,925,112	33,443,257
負債純資産合計	53,839,097	47,625,229

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	39,145,048	45,198,230
売上原価	34,942,007	36,139,556
売上総利益	4,203,041	9,058,674
販売費及び一般管理費	8,768,562	7,565,154
営業利益又は営業損失(△)	△4,565,520	1,493,519
営業外収益		
受取利息	9,517	6,071
受取配当金	5,747	5,041
助成金収入	3,699,193	1,756,754
その他	51,023	80,970
営業外収益合計	3,765,481	1,848,837
営業外費用		
支払利息	3	-
コミットメントフィー	15,692	13,203
為替差損	17,798	21,067
貸倒引当金繰入額	-	10,989
その他	25,165	7,664
営業外費用合計	58,659	52,924
経常利益又は経常損失(△)	△858,698	3,289,432
特別利益		
投資有価証券売却益	11,945	158,121
貸倒引当金戻入額	26,150	217,005
その他	690	1,176
特別利益合計	38,786	376,304
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	31,766	8,555
資産除去債務会計基準の適用に伴う 影響額	-	76,751
減損損失	-	6,684
その他	4,044	9,326
特別損失合計	35,813	101,317
税金等調整前四半期純利益又は税金等 調整前四半期純損失(△)	△855,724	3,564,418
法人税等	452,089	1,055,730
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,508,688
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13,579	25,757
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,294,235	2,482,931

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,199,397	540,687	120,531	80,980	12,941,598	—	12,941,598
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,349	109,338	38,012	—	165,700	(165,700)	—
計	12,217,746	650,026	158,544	80,980	13,107,298	(165,700)	12,941,598
営業利益又は営業損失(△)	△1,204,317	45,495	△147,755	△13,495	△1,320,073	2,578	△1,317,495

前四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	36,764,558	1,548,872	400,198	431,420	39,145,048	—	39,145,048
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,332	320,414	102,291	254	486,293	(486,293)	—
計	36,827,890	1,869,287	502,489	431,674	39,631,342	(486,293)	39,145,048
営業利益又は営業損失(△)	△4,106,693	58,407	△530,625	1,871	△4,577,039	11,519	△4,565,520

(注) 1 事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

当社グループでは、派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つの事業に分類しております。

2 各区分の主な事業内容

①派遣事業・・・ 技術者派遣事業を中心としたフルライン型派遣事業

②エンジニアリングソリューション事業・・・

解析、プリント基板設計、金型試作等のサービスコンテンツ事業

③グローバル事業・・・ 海外エンジニアの育成事業、人材供給事業

④キャリアサポート事業・・・ 職業紹介事業

【所在地別セグメント情報】

前四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)及び前四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)及び前四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、当社グループの中核事業である技術者派遣事業を中心として、その内容と市場の類似性を考慮して派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つを報告セグメントとしております。

派遣事業については、技術者派遣事業を中心とした派遣事業を行っております。

エンジニアリングソリューション事業については、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っております。

グローバル事業については、中国での教育事業及び人材紹介事業を行っております。

キャリアサポート事業については、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	派遣事業	エンジニアリングソリューション事業	グローバル事業	キャリアサポート事業	
売上高					
外部顧客への売上高	42,907,452	1,895,682	68,642	326,451	45,198,230
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,875	349,116	—	543	381,534
計	42,939,327	2,244,798	68,642	326,994	45,579,764
セグメント利益又は損失(△)	1,303,316	147,668	△44,468	82,899	1,489,415

当四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	派遣事業	エンジニアリングソリューション事業	グローバル事業	キャリアサポート事業	
売上高					
外部顧客への売上高	15,147,210	560,963	25,349	107,532	15,841,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,914	139,102	—	—	146,017
計	15,154,125	700,066	25,349	107,532	15,987,073
セグメント利益又は損失(△)	778,215	34,658	△14,103	30,542	829,312

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,489,415
セグメント間取引消去	4,104
四半期連結損益計算書の営業利益	1,493,519

当四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	829,312
セグメント間取引消去	1,368
四半期連結損益計算書の営業利益	830,680

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

(1) (前年度末比較) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	期 別	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)		増 減	
	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	金 額	金 額	金 額	増 減 率
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	22,647,234	14,732,005	7,915,229	53.7	
受取手形及び売掛金	9,561,845	9,582,444	△ 20,598	△ 0.2	
仕掛品	501,157	153,363	347,793	226.8	
その他	2,871,032	3,980,151	△ 1,109,119	△ 27.9	
貸倒引当金	△ 5,597	△ 3,595	△ 2,001	55.7	
流動資産合計	35,575,672	28,444,368	7,131,304	25.1	
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物(純額)	7,797,252	8,100,740	△ 303,488	△ 3.7	
その他(純額)	4,046,117	3,968,508	77,608	2.0	
有形固定資産合計	11,843,369	12,069,249	△ 225,880	△ 1.9	
無形固定資産合計	2,144,870	2,704,131	△ 559,261	△ 20.7	
投資その他の資産合計	4,275,184	4,407,480	△ 132,295	△ 3.0	
固定資産合計	18,263,424	19,180,861	△ 917,436	△ 4.8	
資産合計	53,839,097	47,625,229	6,213,867	13.0	
負債の部					
流動負債					
支払手形及び買掛金	153,472	123,667	29,805	24.1	
未払費用	2,152,974	4,864,630	△ 2,711,655	△ 55.7	
未払法人税等	989,014	146,958	842,056	573.0	
賞与引当金	3,830,967	-	3,830,967	-	
その他	2,376,160	1,257,452	1,118,708	89.0	
流動負債合計	9,502,589	6,392,708	3,109,881	48.6	
固定負債					
退職給付引当金	8,246,394	7,739,553	506,841	6.5	
その他	164,999	49,710	115,289	231.9	
固定負債合計	8,411,394	7,789,263	622,131	8.0	
負債合計	17,913,984	14,181,971	3,732,013	26.3	
純資産の部					
株主資本					
資本金	16,825,881	16,825,881	-	-	
資本剰余金	14,451,367	14,451,416	△ 48	△ 0.0	
利益剰余金	11,198,471	8,715,540	2,482,931	28.5	
自己株式	△ 5,891,943	△ 5,891,264	△ 678	0.0	
株主資本合計	36,583,777	34,101,573	2,482,203	7.3	
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	4,865	20,893	△ 16,027	△ 76.7	
土地再評価差額金	△ 883,049	△ 883,049	-	-	
為替換算調整勘定	△ 11,104	△ 3,706	△ 7,397	199.6	
評価・換算差額等合計	△ 889,288	△ 865,862	△ 23,425	2.7	
少数株主持分	230,623	207,546	23,076	11.1	
純資産合計	35,925,112	33,443,257	2,481,854	7.4	
負債純資産合計	53,839,097	47,625,229	6,213,867	13.0	

(2) (前年同期比較) 四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	増減	
		金 額	金 額	金 額	増 減 率
売上高		39,145,048	45,198,230	6,053,181	15.5
売上原価		34,942,007	36,139,556	1,197,548	3.4
売上総利益		4,203,041	9,058,674	4,855,632	115.5
販売費及び一般管理費		8,768,562	7,565,154	△ 1,203,407	△ 13.7
営業利益又は営業損失(△)		△ 4,565,520	1,493,519	6,059,039	—
営業外収益		3,765,481	1,848,837	△ 1,916,643	△ 50.9
うち助成金収入		3,699,193	1,756,754	△ 1,942,439	△ 52.5
営業外費用		58,659	52,924	△ 5,734	△ 9.8
経常利益又は経常損失(△)		△ 858,698	3,289,432	4,148,130	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)		△ 855,724	3,564,418	4,420,143	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△ 1,294,235	2,482,931	3,777,166	—

(3) 主要経営指標

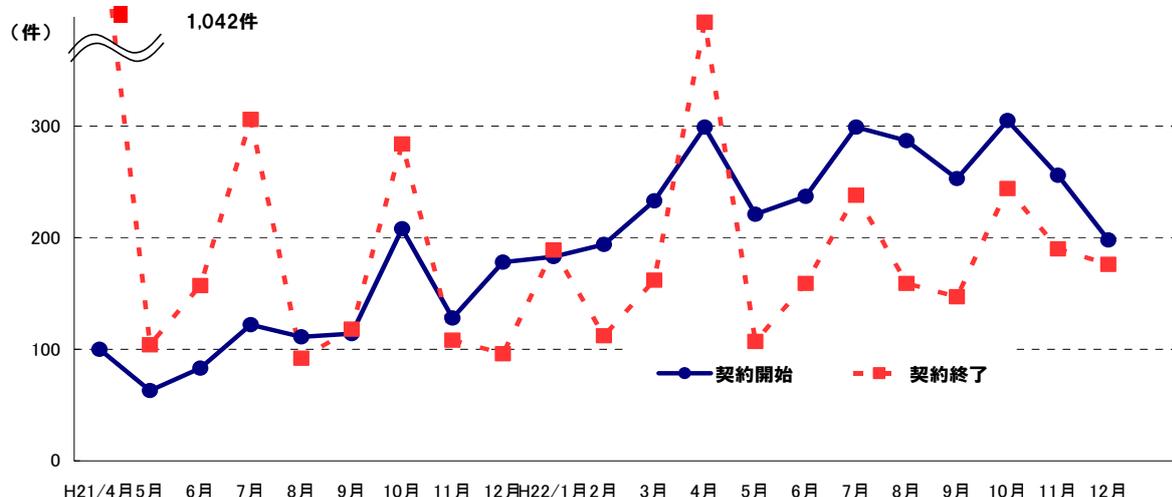
(稼働時間)	平成22年3月期	平成23年3月期	前年同期比
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
メイテック	8.50h/day	8.86h/day	+0.36h/day
メイテックフィルダース	8.58h/day	8.90h/day	+0.32h/day

(4) グループ各社単体の実績 (平成23年3月期 第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
派遣事業	メイテック	35,162	+5,125	815	+3,605	2,490	+2,245	1,440	+1,342
	メイテックフィルダース	6,072	+917	424	+1,723	588	+1,201	564	+1,459
	メイテックキャスト	1,834	+105	48	+68	50	+70	28	+47
エンジニアリング事業	メイテックCAE	855	+50	120	△14	123	△10	74	+0
	アポロ技研グループ	1,310	+267	44	+113	69	+83	35	+32
	メイテックグローバルソリューションズ *1	81	△351	△18	+386	△13	+139	△13	+142
グローバル事業	メイテック上海	21	△1	△1	+3	△10	△6	△10	△6
	メイテック西安	6	+0	△10	+10	△9	+10	△9	+10
	メイテック成都	4	+0	△18	+9	△18	+9	△18	+9
	メイテック上海人才	29	+13	△5	+7	△5	+7	△5	+7
サキヤリア事業	メイテックネクスト	322	+70	84	+101	86	+102	85	+102
	all engineer.jp	7	△2	△1	+1	△1	+1	△1	+1

\*1:平成22年4月1日付けで、中国人エンジニアの派遣事業を当社へ会社分割により承継したことに伴い、今期よりグローバル事業からエンジニアリングソリューション事業へ事業セグメントを変更しています

(5) 契約実績推移 (メイテック単体)



※有事の事業環境下における重要情報の一環として記載しています

(6) 社員還元見込額の追加説明

〔平成22年5月13日公表の平成22年3月期決算短信：平成23年3月期業績予想の注記【抜粋】〕

平成22年2月23日に公表した「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」の通り、平成23年3月期におけるメイテックグループの経営方針は、「自立的な企業存続を達成する」といたしました。その経営方針に基づき、メイテックグループの各社が、それぞれの状況に合わせた施策の実施等を前提として、「通期営業黒字の達成（連結・単体・各社）」を平成23年3月期の経営目標といたしました。これら経営目標等を達成するために、下記表の経営合理化施策を労使合意に基づき実施いたします。

(単位：百万円)	費用削減効果見込額（年間）	
	連結	単体
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上	40	40
執行役員・管理職（非組合員）賃金の減額	190	160
一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額	2,650	1,650
合計	2,880	1,850

なお、現時点の想定を超えて業績が伸長し、公表予想を上回る売上高が確保される場合においても、営業利益が公表予想と同水準に着地する可能性があります。具体的には労使協議等を要する予定ですが、公表予想を上回る売上高に伴い発現が見込まれる営業利益の上ブレ部分は、上記表に記載の社員の賞与、賃金等の減額補填等へ優先して充当する予定です。

〔社員還元見込上限額並びに当四半期連結累計期間の社員還元見込額〕

○ 上記の費用削減効果見込額の内、社員への還元見込額を以下のように算定しました。

(単位：百万円)	連結	単体
社員還元見込上限額（通期）	※1 2,238	※1,2 1,882
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上	—	—
執行役員・管理職（非組合員）賃金の減額	※1 178	※1 120
うち執行役員賃金の減額	—	—
一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額	※2 2,059	※1,2 1,762
社員還元見込額（当四半期連結累計期間）	1,678	1,411
売上原価	1,497	1,283
販管費	181	127

※1 還元対象者の見直し等を行った為、社員還元見込上限額（通期）を修正しています（修正前の社員還元見込上限額（通期）連結2,453百万円、単体2,149百万円）

※2 当社単体の「一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額」の社員還元見込額は、子会社からの業務委託料の減少影響を除いて設定

注) 社員還元見込額は、上限額までの引当金繰入を確約するものではありません。業績次第では、引当金繰入額が上限に満たない場合があります。一方、上限まで引当金を繰入れた場合は、営業利益を計上します。

○ なお、社員還元見込額については、今後の労使協議を経て、当期末までの実支給を予定しております。

以上